

メーラーの設定 [Outlook 2010]

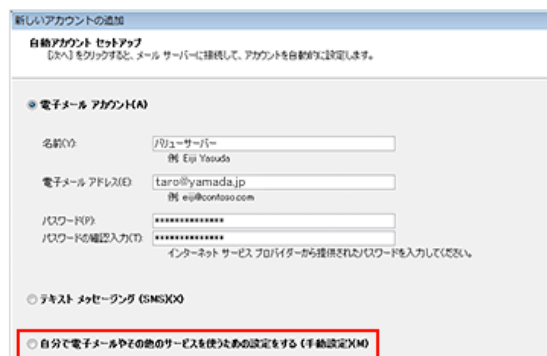
- 1 Outlook2010を起動し、「ファイル」→「情報」の「アカウントの追加」を押す。



- 2 電子メールアカウントを設定します。

*サーバー情報は、弊社よりお送りした「本登録完了のお知らせ」メールに記載されております。
パスワードはメールアカウント作成時のものになります。

氏名	任意の名前
電子メールアドレス	メールアドレス 例) taro@yamada.jp
パスワード	パスワード



「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする」にチェックを入れ、「次へ」を押す。

- 3 「インターネット電子メール」にチェックを入れて、「次へ」を押す。



4 サーバー情報とメールサーバーへのログオン情報を入力し、さらに「詳細設定」を押します。

新しいアカウントの追加

インターネット電子メール設定
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報

名前(N): /ユーザー
電子メール アドレス(E): taro@yamada.jp

サーバー情報

アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): e3.valueserver.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): e3.valueserver.jp

メール サーバーへのログオン情報

アカウント名(U): taro@yamada.jp
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めします。テストを実行するには [アカウント設定のテスト] をクリックします (ネットワークに接続されている必要があります)。

アカウント設定のテスト(T)

☒ [次へ] ボタンをクリックしたらアカウント設定をテストする(S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)
☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

参照(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

サーバー情報	アカウントの種類	POP3
	受信メールサーバー	POPサーバー
	送信メールサーバー	SMTPサーバー
メールサーバーへのログオン情報	アカウント名	メールアドレス
	パスワード	パスワード

5 送信サーバーのタブをクリックし、「送信サーバー (SMTP) は認証が必要 (受信メールサーバーと同じ設定を使用する)」にチェックを入れる。

インターネット電子メール設定

全般 **送信サーバー** 接続 詳細設定

☒ 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

☒ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(L)

☐ 別のアカウントとパスワードでログオンする(L)

アカウント名(U):
パスワード(P):
☒ パスワードを保存する(R)

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(O)

☐ メールを送信する前に受信メール サーバーにログオンする(O)

6 受信・送信サーバ設定は、非SSL接続とSSL (暗号化) 接続の2通りがあります。

● 非SSL接続

詳細設定のタブをクリックし、下記の通りに設定します。

受信サーバー (POP3)	110
送信サーバー (SMTP)	587

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 接続 **詳細設定**

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 110 標準設定(O)

☐ このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 587

使用する暗号化接続の種類(C): なし

サーバーのタイムアウト(T) —
短い — 長い 1 分

配信

☒ サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

☒ サーバーから削除する(R) 14 日 後

☐ [削除済みアイテム] から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

● SSL（暗号化）接続

詳細設定のタブをクリックし、下記の通りに設定します。

受信サーバー (POP3)	995	「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要」にチェックを入れます。
送信サーバー (SMTP)	465	使用する暗号化接続の種類「SSL」を選択します。

7 「次へ」を押します。

8 テストアカウント設定が完了しましたら、「閉じる」を押します。